

燕市イキキまちづくり事業活動報告書

団 体 名	四箇村まちづくり協議会	代 表 者	長谷川 祐二
事 業 の 名 称	楽しく学ぶ地域の歴史講座	総 事 業 費 (予 算 額)	145,280 円
事 業 区 分	まちづくりコミュニティ事業	助 成 金 額 交 付 額	120,000 円
事 業 の 目 的	事 業 の ターゲット	四箇村地区および近隣住民	
	ターゲット への効果	幅広い年齢層から郷土の歴史や文化に興味・関心をもってもらう。	
事 業 経 過	実施期間	令和 3 年 4 月 9 日(金)～令和 4 年 3 月 25 日(金)	
	実施 スケジュール	<p>【令和 3年】</p> <p>4月 9日(金)第1回企画委員会 事業計画・予算・役割分担の審議</p> <p>7月23日(金)第2回企画委員会</p> <p style="padding-left: 40px;">第13回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」の企画</p> <p>7月30日(金)分水北小学校を訪問</p> <p>8月19日(木)第3回企画委員会 プレ発表会</p> <p>8月26日(木)第13回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>9月17日(金)第4回企画委員会</p> <p style="padding-left: 40px;">第14回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」の企画</p> <p>10月14日(水)第5回企画委員会 プレ発表会</p> <p>10月22日(金)第14回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>【令和 4年】</p> <p>2月 4日(金)第6回企画委員会 事業の反省</p> <p style="padding-left: 40px;">イキキまちづくり事業報告書の審議</p> <p>3月25日(金)第7回企画委員会 事業報告書の最終審議</p> <p style="padding-left: 40px;">次年度の構想審議</p>	
事 業 の 内 容	<p>(1) 第 13 回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>①実施日時と会場</p> <p style="padding-left: 20px;">令和 3 年 8 月 26 日(木) 19:00～20:30</p> <p style="padding-left: 20px;">四箇村ふれあい館内アリーナ</p> <p>②テーマとその内容</p> <p>「お寺と民衆のつながり」を大テーマとして、まず、江戸時代初期の寛文年間に、お寺と民衆が檀那寺と檀家という関係でつながった檀家制度の内容と目的を明らかにした。そしてどの寺の檀家になるかを決める際、最も有力な決め手として出身地が同じであったという仮説を立て、真宗寺院と門徒が、いつ、どこから、どのような事情で越後へ大移動したのを、史資料を効果的に使って論証した。</p> <p>(2) 第 14 回「楽しく学ぶ地域の歴史講座」</p> <p>①実施日時と会場</p> <p style="padding-left: 20px;">令和 3 年 10 月 22 日(金) 19:00～20:30</p> <p style="padding-left: 20px;">四箇村ふれあい館内研修室</p> <p>②テーマとその内容</p>		

燕市イキイキまちづくり事業活動報告書

	<p>「お寺と民衆のつながり」を大テーマとした2回目として、四箇村地区に檀家を持つ数ヶ寺の真宗寺院が、戦国末期から江戸初期にかけて北陸や北信濃から門徒と一緒に進出してきた事実と進出の背景を、いくつかの古文書から具体的に論証した。次に、蒲原郡に多くの真宗寺院が進出してきた事実に着目し、かつてこの地は大湿地帯であったことを永禄6年（1563）の古地図や古文書から確かめ、真宗門徒や真宗寺院にとってこの地は開発・発展の余地がある魅力的な場所であったことも明らかにした。</p> <p>（3）第2回「親子で学ぶ地域の歴史講座」 両小学校から、実施の可否について連絡がなかったため今年度の実施を見送った。</p>			
<p>当日の流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座開催に向けて、プレ発表会を含む企画委員会を計7回行い、本番に備えた。 ・参加者の関心を高めるため、地元や近隣に残る貴重な史資料を用いた。 ・パワーポインターを用いて、わかりやすく効果的に説明することに心がけた。 ・最大限のコロナウィルス感染防止対策を講じて実施した。 			
<p>事業の成果</p>	<p>参加者数</p>	<p>一般参加者延べ 42 人</p>	<p>実施回数</p>	<p>2 回</p>
<p>自由記述</p>				
<p>別紙参加者アンケートの結果、「興味をそそられる古文書や古地図などの史資料」、「知らなかったことが解き明かされるおもしろさ」、「講師のわかりやすい説明と話術」に魅力を感じている方が回答者の7割を超え数値目標の8割に迫った。自由記述でも、高評価をいただいた。</p> <p>講座の開設以来、単なる史資料の解説ではなく、貴重な史資料を効果的に使って、知らなかったことが解き明かされるおもしろさを追求するという方針が実を結びつつある。</p>				
<p>今回の反省点及び今後の対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での実施ではあったが、延べ42名の方々から参加いただいた。高い関心をもって参加してくださる多くの方々に支えられ、やりがいを感じている。 ・若い世代から参加してもらえる企画やPRの方法を工夫する必要がある。 ・第2回「親子で学ぶ地域の歴史講座」が実施できなかったことは残念であった。感染拡大で保護者参観さえできない状況であることは伝聞しており実施は困難と推測していたが、そうであっても要請に対して明確な意思表示をしてほしかった。 ・企画委員の負担軽減と地域の歴史伝道者を育成するために、企画委員への新加入をPRし、まちづくり協議会や自治会にも要望したい。 			

燕市イキイキまちづくり事業活動報告書

活動PR等 (自由記述)	<p>平日の夜間開催、しかも今年度はコロナ禍での開催となりましたが、多くのリピーターからお出でいただきました。また、毎回、初めての参加者が数名いらっしゃいます。参加者の広がりを感じます。これは、史資料の単なる解説や古文書の読解講座ではなく、郷土に残る貴重な史資料を効果的に使って、参加者が問題意識を高め、それが解き明かされるおもしろさを感じることができるよう展開に工夫を凝らしている成果だと思います。これが参加者の支持を受け、長く続いている理由です。</p>
-----------------	---

燕市イキイキまちづくり事業活動報告書

参加者アンケート調査の結果と分析

※令和3年10月22日実施 回答者数22名

①年齢別参加者数

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
0	1	0	2	10	8	1

②性別参加者数

男性	女性
18	4

年齢構成や男女比率は、過去の講座と同じ傾向にある。地域の歴史を後世に伝える人材を育てるという目的を達成するためには、特に若い世代からの参加をいかに増やすかが課題となる。

③何回目の参加か

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目
4	1	0	1	4	1	2	0

9回目	10回目	11回目	12回目	13回目
1	1	1	0	5

※未記入1

④地区別参加者数

四箇村	四箇村以外
13	9

リピーターが多くを占める一方で、初めての参加者が4名いた。四箇村地区以外からの参加者も多く、三条市からの参加者もいた。参加メンバーの固定化や参加地域の偏りが少なく広がりがみられる。

令和4年2月9日

四箇村まちづくり協議会 歴史講座企画委員会主催 令和3年度『楽しく学ぶ地域の歴史講座』活動報告

コロナ禍での開催ではありましたが、令和3年8月26日(水)に第13回、10月22日(金)に第14回を開催し、延べ42名の一般参加がありました。8月26日(水)の第13回開催日は、21都道府県に緊急事態宣言が発出されている最中で、しかも密を防ぐために空調設備のないアリーナを会場としたため大変蒸し暑い環境でした。それでも20名の一般参加者があり、改めて地域の歴史を知りたいという根強いニーズを感じました。

令和3年度の講座内容

令和3年度は、「お寺と民衆のつながり」を大テーマとして2回開催しました。

講座では、まず江戸初期の寛文年間に、お寺と民衆が檀那寺と檀家という関係でつながった檀家制度について、その内容と目的を明らかにしました。次に、民衆が特定のお寺の檀家となった最も有力な理由として、出身地が同じであったという仮説を立て、まず四箇村地区に檀家をもつ清傳寺・大蓮寺・広伝寺・聖徳寺が、いつ、どのような理由で、どこからやって来たか、なぜ蒲原の地に進出したのかを現存する史資料から明らかにしました。次に、この地の初期開拓者の中に、これらのお寺と一緒にやってきた人達がいたことを論証しました。新たに発掘・発見された史資料が数多く登場し、参加者からは「知らなかったことばかりでとても深く感銘を受けました」と賞賛をいただきました。

⑤どんなところに魅力を感じるか(複数回答可)

プロジェクターを使った説明方法	12
知らなかったことが解き明かされるおもしろさ	16
興味をそそられる古文書や古地図などの史資料	17
講師のわかりやすい説明と話術	16
興味・関心のあるテーマ	8

⑥自由記述欄(ほぼ原文のまま)

- ・とてもよく調べてあり、しかも分かりやすくお話しください、知らなかったことばかりでとても深く感銘を受けました。ありがとうございました。
- ・昔のことを大変分かりやすく説明されていて勉強になりました。来年も楽しみにしています。
- ・歴史を知ることにより、物事を幅広く考えることができる。大変参考になりました。
- ・部落の形成を年表でくわしく教えてください。地区の風習やしきたり等の変化も。

「興味をそそられる古文書や古地図などの史資料」、「知らなかったことが解き明かされるおもしろさ」、「講師のわかりやすい説明と話術」に魅力を感じている方が回答者の7割を超え数値目標に迫った。自由記述でも、高評価をいただいた。

講座の開設以来、単なる史資料の解説ではなく、貴重な史資料を効果的に使って、知らなかったことが解き明かされるおもしろさを追求するという方針が実を結びつつある。

歴史講座の企画委員を募集します!

特別な知識や経験は一切必要ありません。企画をする中で深く楽しく地域の歴史を学べます。現在企画委員がない溝と牧ヶ花地区の方、特に歓迎します。以下は5年前に企画委員になった溝古新の瀧木充さんの感想です

元々歴史に興味をもっていたこともあり、新たに暮らすこの地域をより深く知るために、企画委員に参加させていただきました。どこか遠い世界で語られる歴史ではなく、今につながる地域の歴史を学ぶことで、この地域への愛着が強くなり、また、多くの方々から講座に参加していただける企画をすることにやりがいを感じています。歴史に苦手意識のある方でも、身近なテーマを学ぶことで自身のルーツを明らかにし、歴史を学ぶ意味を再発見できると思います。

四箇村地区内で参加を希望される方は、委員長宅へお電話(93-3478)いただくか、近くの企画委員までお気軽にお申し出ください。

第14回のPRちらしと講座の様子

テーマ:『お寺と民衆のつながり』

第14回 楽しく学ぶ地域の歴史講座のご案内

主催: 四箇村イキイキまちづくり協議会 四箇村まちづくり協議会
歴史講座企画委員会

日時: 10月22日(金) 19:00-20:00

場所: 溝と花27-1「四箇村ふれあい館」(アリーナ)

講師: 歴史講座企画委員 委員長 古谷清隆(北川清彰)
その他: 入場無料、参加費: 2,000円

※この講座の開催は、令和3年度の講座で、令和4年度の講座は、令和4年度の講座です。過去の講座資料はその必要に応じてお申し込みいただけます。また、令和4年度の講座は、令和4年度の講座です。過去の講座資料はその必要に応じてお申し込みいただけます。また、令和4年度の講座は、令和4年度の講座です。過去の講座資料はその必要に応じてお申し込みいただけます。

参加費: 2,000円

申し込み先: 歴史講座企画委員 委員長 古谷清隆 093-3478-2711

